

平成26年度 学校評価後期アンケート結果について

福木中学校評価委員会

今年度の後期学校評価アンケートについて、前期学校評価との比較を行った。数値が上がってきている項目については、学校全体で取り組んできた成果が現れてきていると考えられる。

「福木中 授業の五箇条（準備・挨拶・発言・姿勢・記録）を大切にし、こだわる」という取り組みを実施し、小学校との連携をさらに深めていくことで授業規律が高まり、1時間ごとの授業の中で教員が足並みを揃えた授業展開ができるようになってきた。これらのことを前提とし、3領域（学力の向上・豊かな人間性の育成・まちぐるみによる教育の推進）について、後期の考察と来年度へ向けた取り組みについて検討を行った。

1. 学力の向上について

<考察>

- 毎時間の授業でねらい（取り組み目標）を提示することについて、教職員の数値が前期より減少した。その一方で、生徒の、「授業のねらいはつかんでいる」が、2，3年生で若干数値が上がった。教職員の数値は4を目指さなくてはならない。また、「授業の終わりの振り返り」の点については少しずつ意識が持ってきているのが上記の生徒の数値が上がった要因のようにも考えられる。
- 1日1ページ、二百字帳、自主学習の取り組みについては、生徒1，2年生の数値が下がっているが、二百字帳や1日1ページの提出については教科担任と学級担任の連携が少しずつ図れてきている。一方、今年度より取り組んでいる自主学習ノートに関しては新たな段階として「全員提出・内容の向上」に向けて取り組んでいく必要があると考える。
- 授業前後の瞑目と挨拶に関しては、数値が上昇した。学校全体で取り組んだ「プロジェクト FA（服装・挨拶）」などの効果だと考えられる。「忘れ物や服装、授業の記録」の項目も1学年以外は前期同様改善が見られる。しかし、「発表」に関しては、1学年以外低い数値となっている。ペア学習やグループ学習など、全ての教員が学習形態の工夫をして発表をしやすくする等の取り組みが必要のように思われる。

<取り組み>

- 家庭学習については、生徒の実態をふまえ、課題の内容や量、提出時期を工夫するとともに、提出状況を確実に把握するよう努め、徹底してやり切らせたい。そのために学年全体で例えば、「毎週金曜日の放課後は未提出者と課題をやりきる時間を作る」など、生徒任せにしない粘り強い取り組みを考えていく必要がある。また、学習定着状況の一つの目安として、「基礎・基本定着状況調査」や「全国学力定着状況調査」をうまく活用していきたい。

- 「あいさつやベル着」の取り組みについては、生徒会とタイアップし学校全体で取り組ませるようにしたい。例えば月ごとに行う「メイクレコード」の内容を今の生徒の状況に合わせてより意味のある点検活動にしていきたい。

2. 豊かな人間性の育成について

<考察>

- 生徒と教員のコミュニケーションについては、前期同様、教員の数値が上がっている。また、生徒の数値が2学年以外上がった。教員側は前期よりもより「生徒たちが自分たちに必要なコミュニケーションととらえられる声かけができてきている」と感じている。
- 「挨拶をしている」の項目では1学年の生徒・保護者以外のすべての数値が上がった。授業前後に先言後礼の挨拶を取り入れたり、PTAで取り組んでいる朝のあいさつ運動に生徒が参加する機会を設けるなど、取り組みが徐々に浸透してきているのではないかと考えられる。今後さらに生徒会や地域・保護者の方と連携した挨拶運動を通して、「いつでも・誰にでも」あいさつができる学校・地域づくりを目指していくようにしたい。
- 「学級活動や委員会活動、行事など意欲的に取り組んでいる」という項目では、前期に引き続き上昇傾向にある。係活動や各行事において、学級・学年でのつながりを感じ、協力する意識が徐々に高まってきているのではないかと考えられる。

<取り組み>

- 前期同様引き続き、休憩時間や放課後などに生徒と向き合う時間をとり、生徒と関わる場面を増やしながらか、適切な言葉がけに努め、生徒の自尊感情を高めることを目指す。また生徒同士のコミュニケーション活動を取り入れられるようにするためにさらに生徒会との連携を考えていく。
- 学級での係活動や生徒会委員会または行事を通して、生徒同士のつながりを大切にしながら適切な声かけをし、生徒たち自身にやり切らせることで達成感が味わえる支援をさらに深めていきたい。

3. まちぐるみによる教育の推進について

<考察>

- 前期同様、「学校だより」や「生徒指導便り」を通じて、定期的に情報発信に努めてきたが、前期と比較したら、保護者の数値が下がった。配布物がきちんと生徒から保護者へ届くよう工夫をしていきたい。

<取り組み>

- 配布物だけではなく、ホームページの更新をこまめに行うことで地域に学校の様子がわかるように、最新の情報を発信していく必要がある。また、配布物をきちんと保護者へ届ける習慣を生徒たちにも身につけさせていきたい。